

もう1人の仲間を国労に! 各地方・地区本部 組織部長会議を開催!



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

No. 780 定価 20円

2016年
7月25日

結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を
訴えよう!



QRコードから
でも閲覧できます

<http://www.e-nru.com/>



6月11日、東京地本会議室において、各地方・地区本部組織部長会議が開催されました。伊藤業務部長の司会で、宮崎副委員長からは東日本本部を取り巻く状況などの挨拶がさ

国労東日本本部は、組織の強化・拡大に向けて、各地方・地区本部組織部長会議を開催しました。今回は、福島県支部並びに大宮車両所分会から「組織拡大の取り組みに学ぶ」というテーマで報告を受けました。支部・分会での活動を全体で学びあい、組織拡大運動を強化する意思統一をしてきました。今号は、各地方・地区本部組織部長会議報告、国労東日本本部拡大弁護団会議報告、大宮車両所分会歓迎会の報告を掲載します。

福島県支部・佐藤書記長からは「郡山駅連合分会では3月23日付で5名が東労組から国労に加入した。国労運動の根幹である職場を基軸に運動展開すること、『組合員が主人公』の組織活動を展開すること、分会・班を中心

に学ぶ」というテーマで、福島県支部・佐藤書記長と大宮車両所分会・鈴木さんより報告を受けました。

い組織作りをしていくことなど組合員一人ひとりがその自覚と『組織拡大をする』という意識を持ち、職場の中で立ち回れるか否かが運動の分岐点である。全組合員が職場の青年たちに『国労に来てくれ』ではなく、『国労に入り、運動すること

があなたのため』という立場で国労加入を訴えていくことが求められている。福島県支部は、支部大会において『すべての運動の集中点・集約点は組織拡大

運動の分岐点である。全組合員が職場の青年たちに『国労に来てくれ』ではなく、『国労に入り、運動すること

に』という方針を確立した。今春闘において『一要求・現場長交渉』を柱に全組合員が春闘を闘う意思統一を行い、組織拡大に打って出ようということを確認した。職場で国労運動を前進させ、多数派となりえる組織拡大を実現すべく取り組みを強めよう!』と訴えました。



大宮車両所分会・鈴木さんからは、2月5日から3人連続して国労に加入した仲間の報告がされました。「分会では集会の開催や機関誌の発行などを中心に分会活動を取り組む中、日常的に組合員や他労組の若い人に、職場で

の不平・不満を聞いてきた。更には、国労役員が複数の作業班で班長を務めている事や、組合員自身も、業務で回りの信頼を得てきた。この間、連続して3名が国労に加入する決意をしてくれた。特に2年前に加入した若い仲間

の力は大きく、新しい仲間が加入すると、さらにもう一人の仲間をとの意気込みで若い人の悩みを聞いて改善する努力をしてきている。一方で、こうした若い仲間も組合の将来に不安を抱える中で、他労組の若い人も含め『労働組合とは何か』を理解してもらうために分会機関誌に掲載をはじめ

「若い人が若い人を組織するために努力をしていることを各地方で学んで、広げてほしい。各地方からの要請にあった、本部での組織部長会議の開催、青年部・女性部の学習交流については対応していく。東日本本部として、各地方と連携を取り組織拡大をしていく」との武田組織部長のまとめで閉会しました。

そして武田組織部長より、①組織の現状について、②2016新採対策の状況について、③今後の取り組みについての提起があった後、全体討論に入りました。

最後に「若い人が若い人を組織するために努力をしていることを各地方で学んで、広げてほしい。各地方からの要請にあった、本部での組織部長会議の開催、青年部・女性部の学習交流については対応していく。東日本本部として、各地方と連携を取り組織拡大をしていく」との武田組織部長のまとめで閉会しました。

各地方からは「新採対策プロジェクトを設置し、青年部を中心に月一回の会議を開催している」「女性社員も増えてきている。新たな課題に向け、学習と交流会が必要である」「JESS・TSSの組織化が課題である。アンケート調査を取り組み、要求化に向けて努力している」など、新採対策、全分会オルグの状況、グループ会社の状況、他労組の状況などが報告されました。

最後に「若い人が若い人を組織するために努力をしていることを各地方で学んで、広げてほしい。各地方からの要請にあった、本部での組織部長会議の開催、青年部・女性部の学習交流については対応していく。東日本本部として、各地方と連携を取り組織拡大をしていく」との武田組織部長のまとめで閉会しました。

各地方からは「新採対策プロジェクトを設置し、青年部を中心に月一回の会議を開催している」「女性社員も増えてきている。新たな課題に向け、学習と交流会が必要である」「JESS・TSSの組織化が課題である。アンケート調査を取り組み、要求化に向けて努力している」など、新採対策、全分会オルグの状況、グループ会社の状況、他労組の状況などが報告されました。



国労東日本本部 拡大弁護団会議 6月25日開催!

6月25日、東京・新橋において、国労東日本本部拡大弁護団会議が開催されました。

会議は渡辺法対部長の開会のあいさつからはじまり、菊池執行委員長からのあいさつを受けて、国労本部弁護団の宮里邦雄弁護士から、5月13日の東京地裁での長澤運輸事件(労働契約法第20条違反)

判決の内容とその意義についての講演を受けました。

そして佐藤書記長からJR東日本のエルダー社員制度の現状について、中村正利元神奈川地区本部副委員長からはエルダー社員の実態について「賃金はJR社員時代の約3分の1まで減収し、住宅ローンも残っている。さらに職場労働条件もJR職場と比べて劣悪になっている」と苦しい職場実態を報告しました。

また、宮崎副委員長からJR東日本で発生している事故やトラブルの背景と要因について、中澤一夫東京地本執行委員から組織拡大の現状について、それぞれ報告がされました。その後はJR東日本エルダー社員制度について、現場の実態を交えながら意見交換を行って、閉会となりました。

大宮地区本部 大宮車両所分会 加入歓迎会 6月3日開催!

6月3日、大宮地区本部・大宮車両所分会は、4月28日に加入した内記大輔さんの歓迎会を開催しました。

主催者を代表して橋本分会長から、内記さんの国労加入に対して感謝の言葉と、更には国労運動と人への信頼

が加入に結びついたことなどが述べられました。また「会社や所属組合に不満を持っている青年たちがいる。安心して働く事が出来る労働条件の改善に向けて、仲間を増やすために奮闘して行きたい」との力強い挨拶がありました。

内記さんからは、自己紹介に加えて「国労組織と運動の前進に向けて自分も出来る所から頑張りますので、今後とも宜しくお願います」と参加した仲間

に元気を与える挨拶を頂きました。また内記さんに対して、全国の仲間から届いた沢山の檄が橋本分会長から手渡されました。更には東京地本・中嶋青年部長からは、国労バッジと組合員証が渡されました。

歓迎会は、終始和やかな雰囲気の中で進められ、お互い更なる奮闘を固めよう歓迎会となりました。

内記さんの加入は、2月に加入した松本康平さんに続いて今年2人目となり、更に6月10日には、松崎宏二郎

さんを迎えることができました。引き続き新たな仲間を迎えるために奮闘しましょう。

鉄道部門の黒字化必達のために、社員の労働条件を切り下げてきた会社と責任組合の責任は余りにも大きいと言わざるを得ません。「利益は社員に還元せよ」との国労主張の正当性は明らかです。会



社は社員のこれまででの塗炭の苦しみに報いるべきです。それが現場社員の圧倒的な声となっています。大宮車両所分会は、組合員一人ひとりの声を社長に宛てて郵送しました。

アフラック 最新のがん保険、新登場。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い
NEW/ **生きるためのがん保険 Days**

はじめてダック

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

©商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。
(引受保険会社)
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第二法人営業部
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル17F
Tel.03-3344-1429 Fax.03-3344-4036
AF広宣課-2014-0044-1412506 8月25日